

アドバンスセミナー

科目名	個人曝露防護具セミナー			
-----	-------------	--	--	--

科目責任者	津田洋子	講師				
配当年次	1・2年次	配当学期	(個別設定)	曜日・時限		授業方法 講義・演習

1. 授業の概要

発災時の事業継続(BCP)は耳馴染みのある言葉になってきたが、企業・組織のソフト(労働者等)の災害対応力はどうだろうか？このセミナーでは社員や組織人の災害対応に関わる人々を対象として、個人曝露防護具の有効な使用と平時からの備えについて、適切な知識/手技を習得し、組織/集団のファシリテーターとなって人々を有害物質の曝露から衛る技術を身に付けることを目的とする。災害への備えとして、個人が実施できることを知るとともに簡便な防災ツールを持ち歩くことは自らの身を守る上で大切であり、セミナーでは、社員等の防災意識向上と防災ツールの適切な利用を指導できる人材の育成を目指す。セミナーで用いる個人曝露防護具は呼吸用保護具と手袋である。防じんマスクやサージカルマスク、サージカルグローブ等を使用して適切な装脱着の手技を習得するとともに、個人曝露防護具選択・使用のインストラクターとして活動しうる知識と手技の習得を目指す。さらに、演習として、事例に対する個人曝露防護具の選定と使用に関する課題を実施し、講義中に発表を行う。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

個人曝露防護具の基本的な知識を習得し、使用者に指導できる能力を身に着ける。

【行動目標(SBO)】

- ・個人曝露防護具の種類とその用途について説明できる。
- ・呼吸用保護具・経皮吸収対策用保護具の種類とその特性、使用環境に適した選択・装着方法とメンテナンス方法について説明できる。
- ・具体的な事例に対し、適切な曝露防護について提言提言できる。

3. 履修上の注意事項

実習訓練に必ず参加すること。

<授業計画>

回数	日付	時限	担当者	
1	後日調整		津田 洋子 講師 渋谷 克彦 講師	(予定) ・2コマ連続講義を4日間実施予定 ・後期、土曜日の午前中を予定 ・1日目:イントロダクション、事前課題プレゼン ・2日目:呼吸用保護具の使用訓練と演習課題説明 ・3日目:防護手袋の特性と選択・使用訓練、演習課題実施 ・4日目:演習課題発表、等 (その他) 担当以外の教員・非常勤講師も講義を分担する可能性がある
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				